

県内の感染状況の分析 (R4.1.3～1.31)

大分県福祉保健部感染症対策課

県内における感染状況（1月）

- **感染者数** 5,372名 第5波 4,683名 第4波 2,204名
- **死亡者** 1名 第5波 20名 第4波 42名

- **感染拡大の経過**

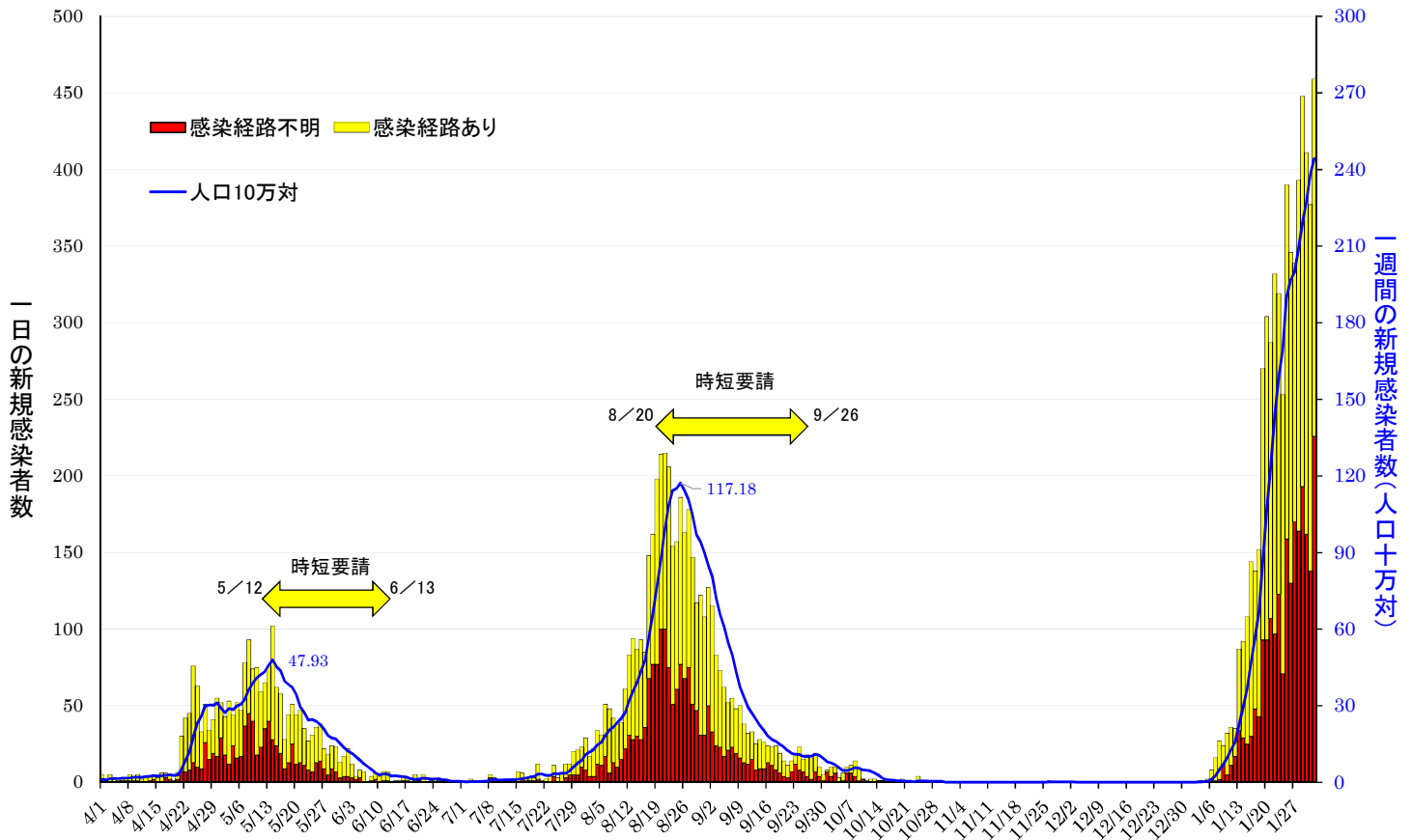
- 1月3日 県内で初めてのオミクロン株を確認
- 1月11日 人口10万対12.8となり、10を超える
- 1月20日 人口10万対106.4となり、100を超える
- 1月28日 人口10万対209.0となり、200を超える
- 1月31日時点で 人口10万対238.2

- **県の対策**

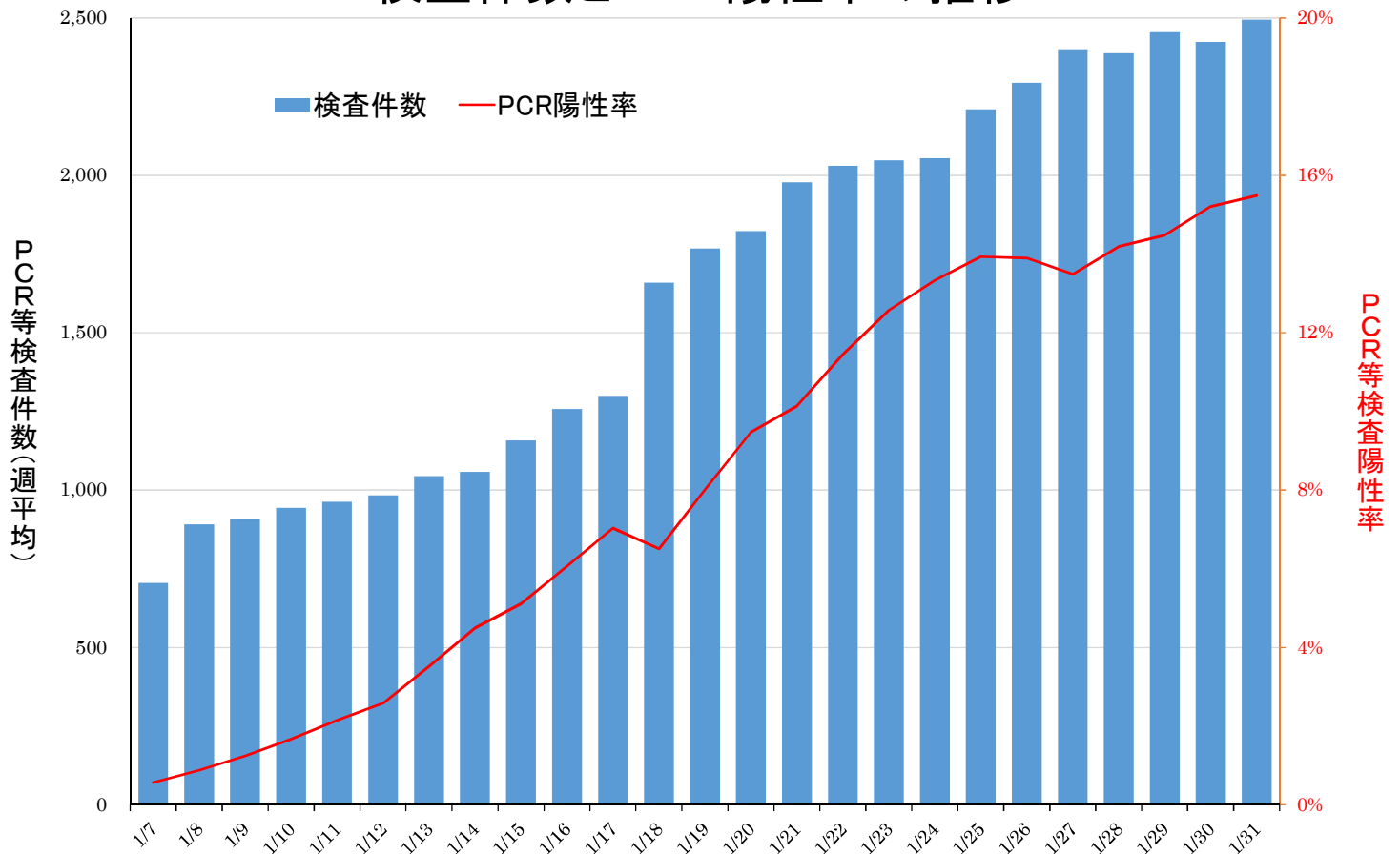
- 1月7日 第46回合同本部会議(無料検査場11カ所、宿泊療養施設444室開設)
- 1月14日 第47回合同本部会議(ステージ2へ引上げ、受入病床508床確保)
- 1月20日 第48回合同本部会議(ステージ3へ引上げ、宿泊療養施設1,079室)
県営ワクチン接種センターの再開(警察、消防、妊婦等)
- 1月25日 第49回合同本部会議(まん延防止等重点措置下での取組)
- 1月27日 まん延防止等重点措置(県内全市町村、～2/20まで、飲食店の時短要請)

大分県の新規感染者数の推移

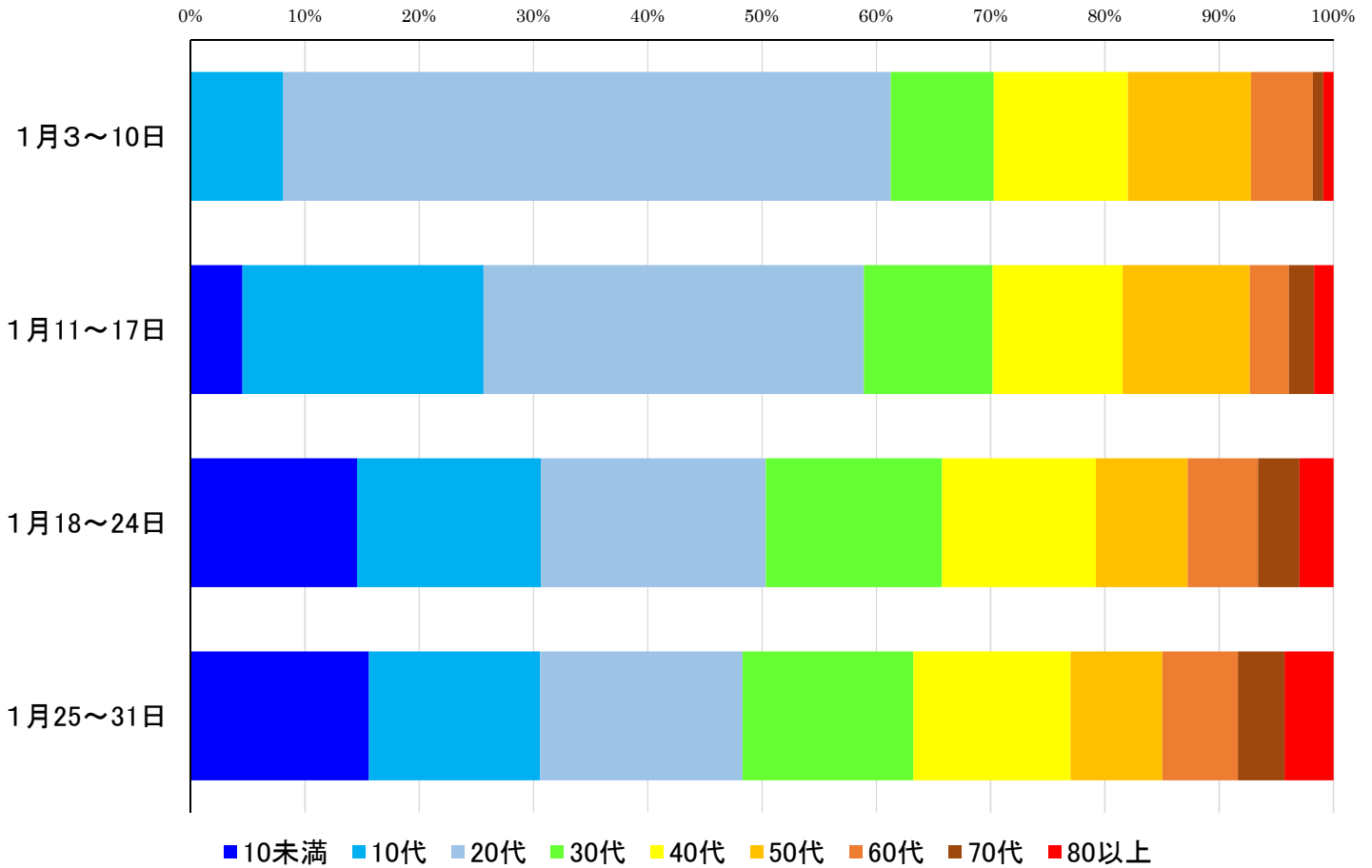
1/27 時短要請



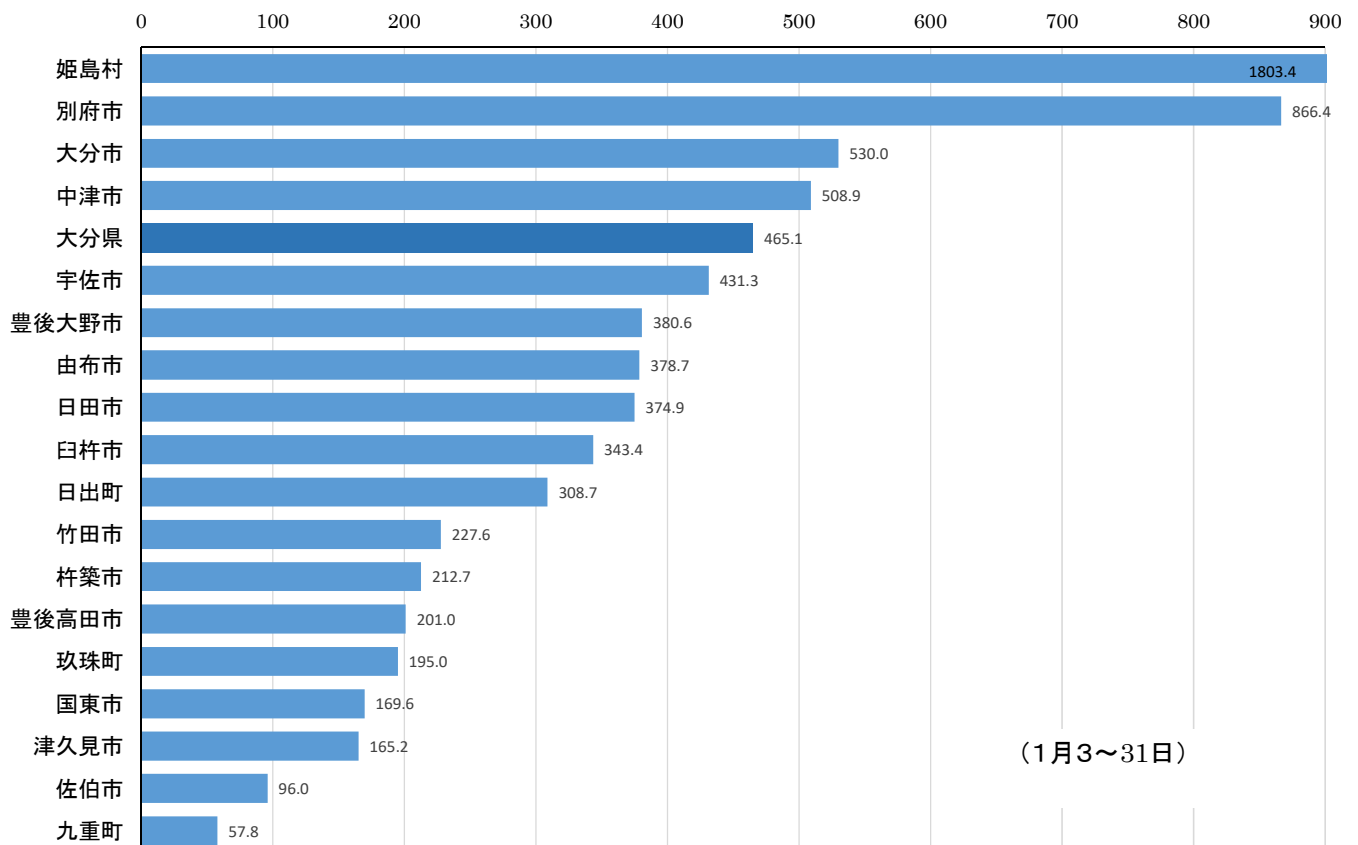
検査件数とPCR陽性率の推移



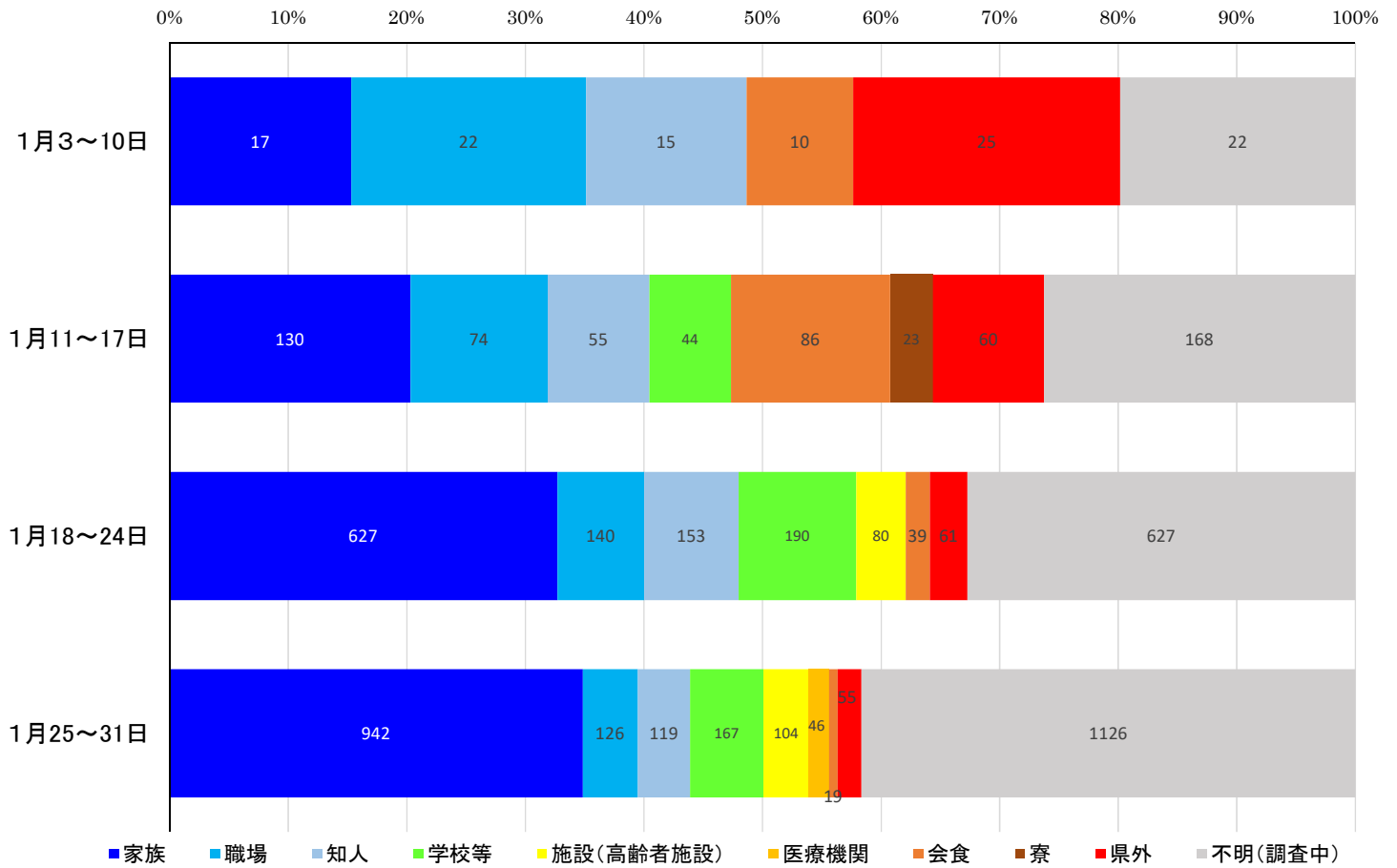
感染者の年齢分布の推移



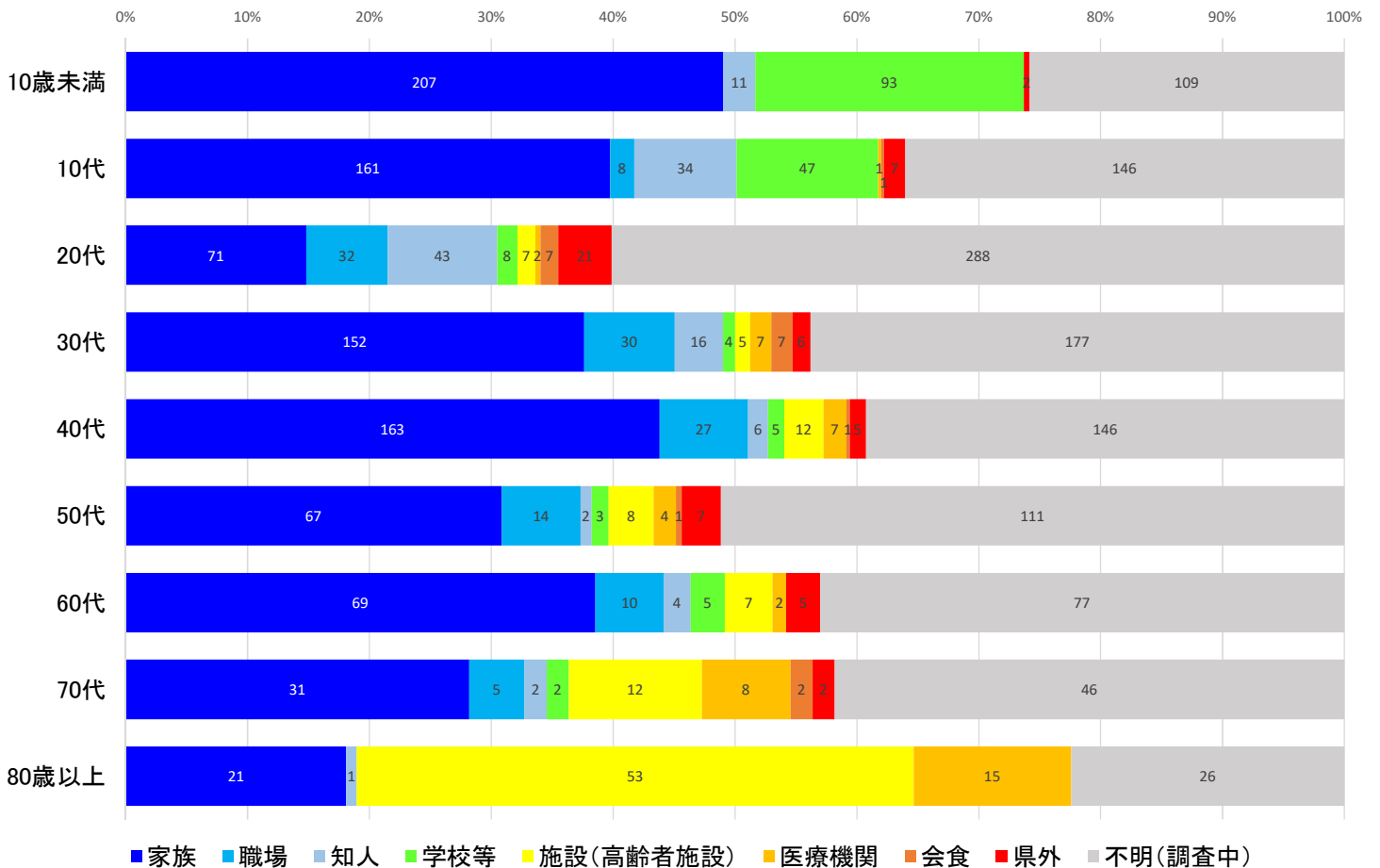
市町村別の新規感染者数(人口10万人当たり)



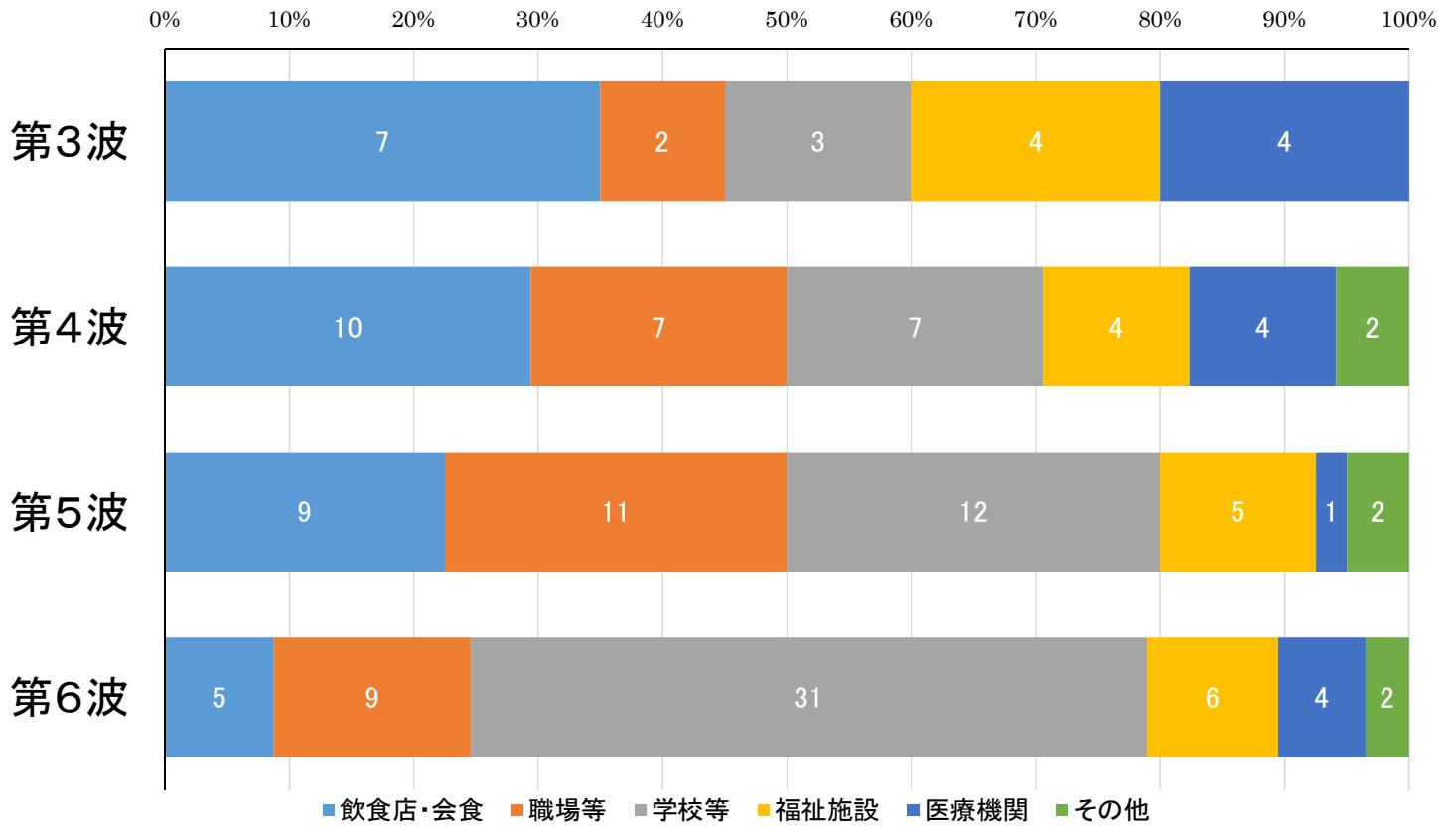
第6波における感染経路の推移



年齢階級別の感染経路(1月25~31日)

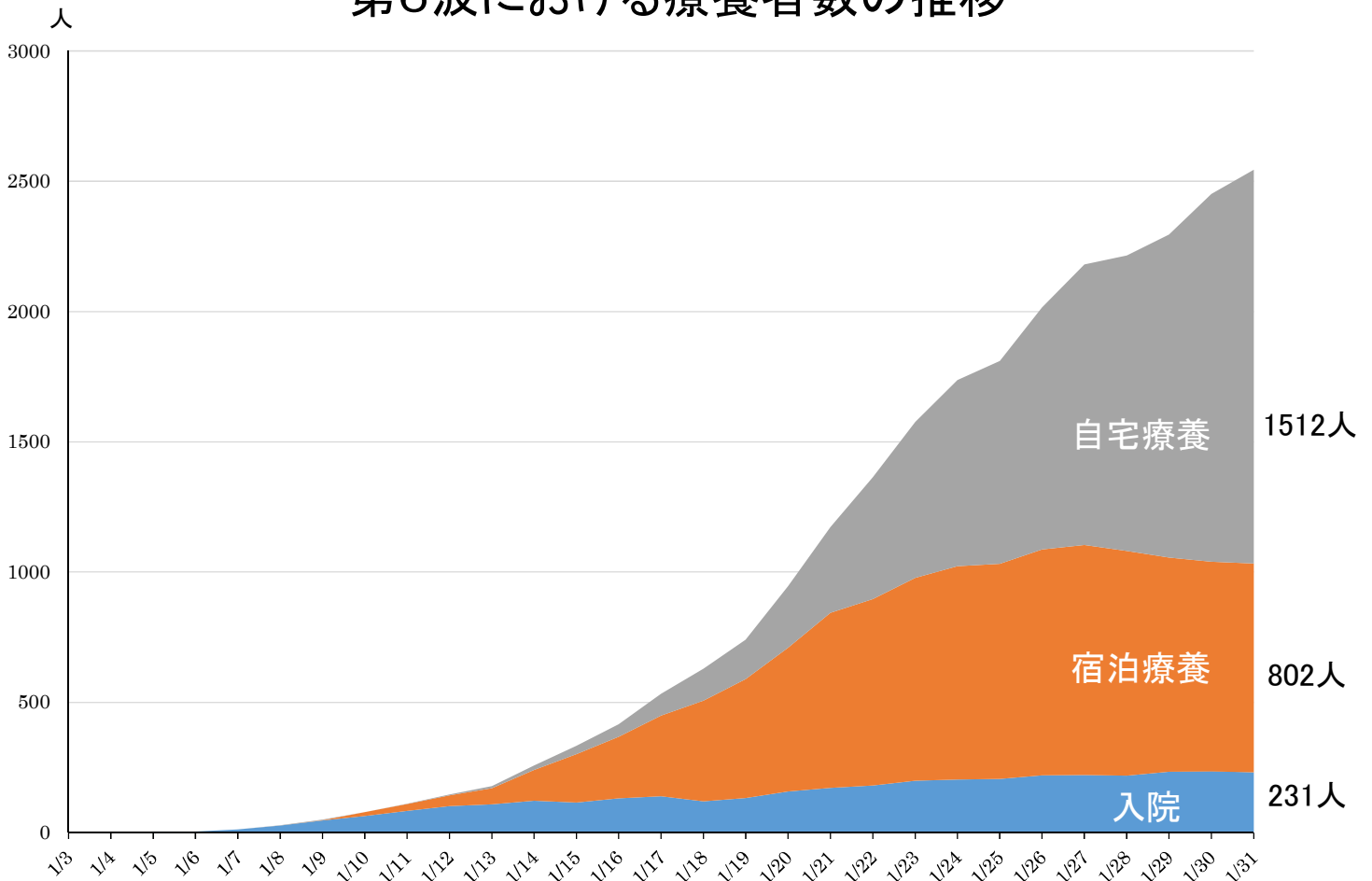


流行毎のクラスターの内訳

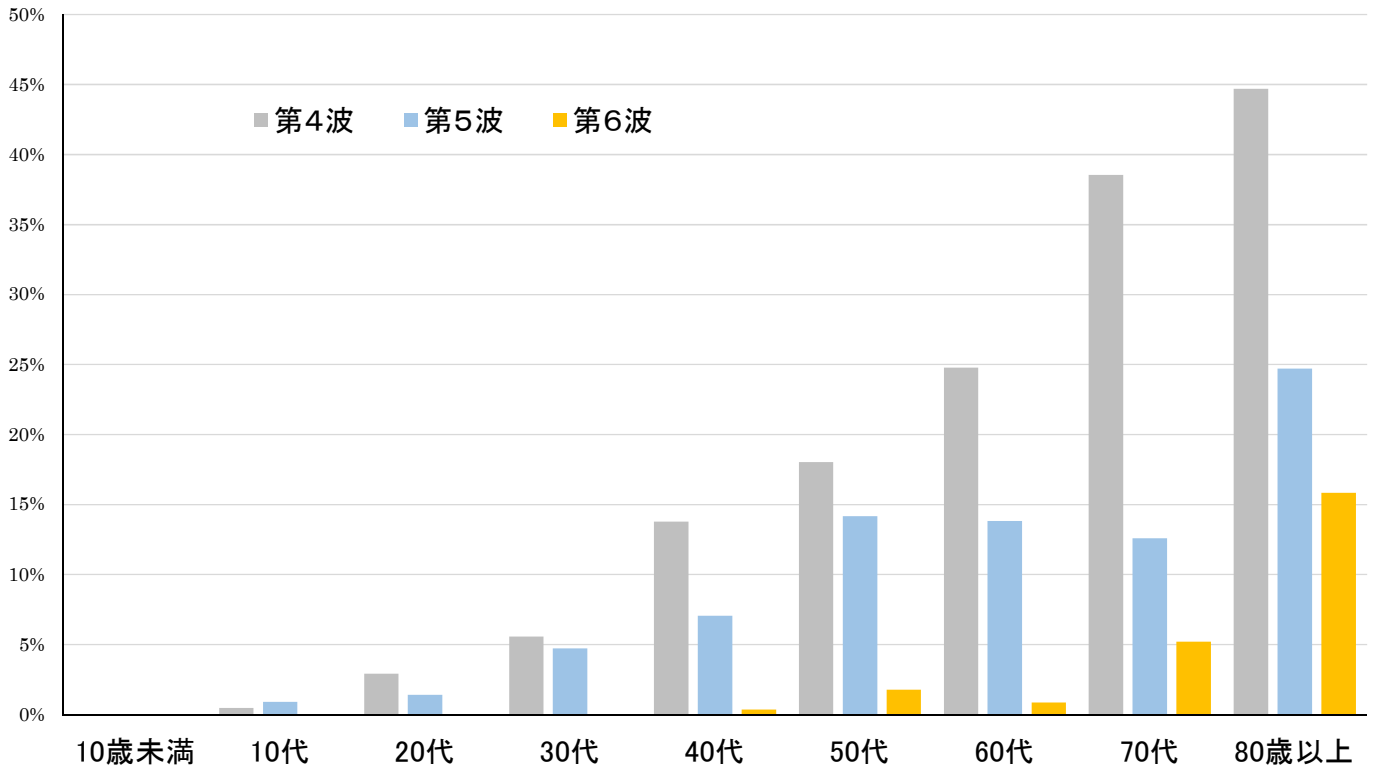


学校等の内訳、大学3、高校8、中学校1、小学校4、幼児教育・保育施設12、児童クラブ等3

第6波における療養者数の推移



各流行の重症化率(酸素吸入が必要になった割合:1月1~28日)



第6波では、50歳未満で、酸素吸入が必要になったのは、3,313名中わずか2名(0.06%)

オミクロン株の特徴

- 感染力が強い

人口10万人当たり10から100を超えるまで

デルタ株(第5波) 20日間 (8月1日 → 8月21日)

オミクロン株 9日間 (1月11日 → 1月20日)

- 重症化リスクは低い

酸素吸入が必要となった感染者の割合

アルファ株(第4波) 15.8%

デルタ株(第5波) 5.5%

オミクロン株 0.8% アルファ株の1/20

今回の流行で、酸素吸入が必要になった感染者

50歳未満の3,313名中、わずか2名 0.06%

- 潜伏期間が短い デルタ株 5日 → オミクロン株 3日

世代期間(次の人に感染させるまでの期間)が2日

- 小児の感染者が増え、有症状者の割合が多い

デルタ株 73.2%* → オミクロン株 87.5%*

(*小児の感染者に占める有症状者の割合)